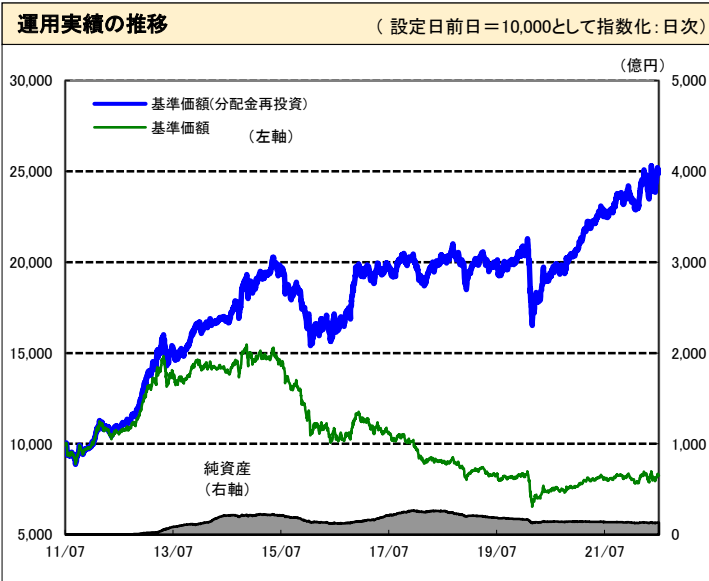




運用実績

2022年7月29日 現在



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 8,247円

純資産総額 131.4億円

- 信託設定日 2011年7月29日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、毎月12日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率	
期間	ファンド
1ヵ月	2.8%
3ヵ月	0.6%
6ヵ月	6.5%
1年	10.1%
3年	24.5%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 149.0%

設定来累計 11,955円

設定来=2011年7月29日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移	
2022年7月	50円
2022年6月	50円
2022年5月	50円
2022年4月	50円
2022年3月	50円

基準価額変動の要因分解(概算)					
	2022年5月	2022年6月	2022年7月	直近3ヵ月累計	
基準価額騰落額(分配金込み)	-97円	-80円	222円	45円	
為替要因	-31円	521円	-122円	367円	
債券要因	キャピタルゲイン	-95円	-628円	313円	-409円
	インカムゲイン	42円	43円	42円	127円
信託報酬等	-13円	-16円	-11円	-40円	

・上記の基準価額変動の要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、直近3ヵ月の基準価額騰落額の要因を円貨にて表示しております。

資産内容

2022年7月29日 現在

格付別配分	
格付	純資産比
BBB以上	1.7%
BB	34.9%
B	41.4%
CCC	14.0%
CC	0.4%
C以下及び無格付	1.8%
その他の資産	5.8%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

業種別配分	
業種	純資産比
石油・ガス	18.7%
建設	7.5%
放送	6.7%
レジャー	6.4%
金融	5.8%
その他の業種	49.1%
その他の資産	5.8%
合計	100.0%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。
実質外貨比率 98.3%

ポートフォリオ特性値	
平均格付	B
平均クーポン	5.6%
平均直利	6.4%
平均最終利回り	8.2%
平均デュレーション	4.4年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(クーポン、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものと、現地通貨建て。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

組入上位10銘柄

2022年7月29日 現在

銘柄	クーポン	業種	格付	純資産比
CARNIVAL CORP	5.750%	レジャー	B	1.2%
SPRINT CAPITAL CORP	8.750%	通信	BB	0.7%
DCP MIDSTREAM OPERATING	5.125%	石油・ガス	BB	0.7%
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	4.500%	放送	B	0.7%
GLOBAL AIR LEASE CO LTD	6.500%	金融	B	0.6%
LITHIA MOTORS INC	3.875%	小売り	BB	0.5%
FORD MOTOR COMPANY	9.000%	自動車関連	BB	0.5%
SWITCH LTD	3.750%	通信	B	0.5%
CQP HOLDCO LP/BIP-V CHIN	5.500%	石油・ガス	B	0.5%
LAREDO PETROLEUM INC	9.500%	石油・ガス	B	0.4%
合計				6.4%

組入銘柄数: 655銘柄

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

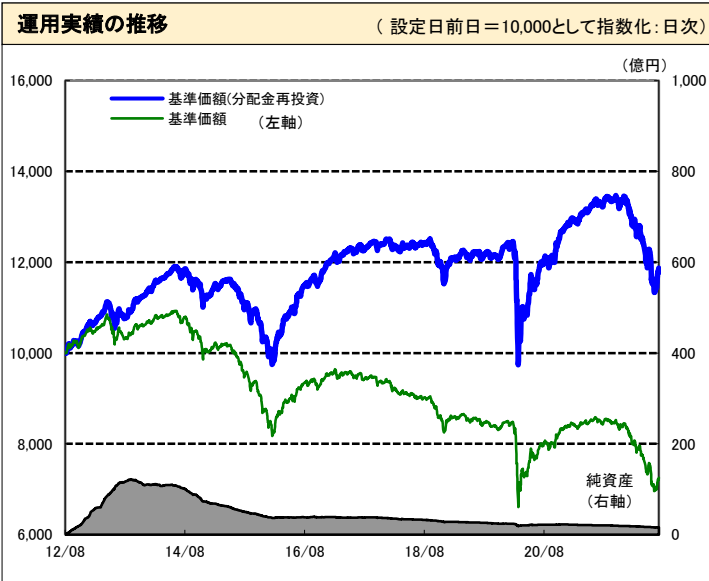
◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



運用実績

2022年7月29日 現在



基準価額※	7,256 円
純資産総額	16.1億円

- 信託設定日 2012年8月30日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、毎月12日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	4.2%
3カ月	-4.2%
6カ月	-9.1%
1年	-10.9%
3年	-2.8%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

年	月	金額
2022年	7月	30 円
2022年	6月	30 円
2022年	5月	30 円
2022年	4月	30 円
2022年	3月	30 円

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	18.7%
設定来累計	4,545 円

設定来=2012年8月30日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

基準価額変動の要因分解(概算)

	2022年5月	2022年6月	2022年7月	直近3ヵ月累計	
基準価額騰落率(分配金込み)	-64円	-549円	290円	-323円	
為替要因(ヘッジコスト込み)	-3円	-4円	-10円	-17円	
債券要因	キャピタルゲイン	-88円	-570円	273円	-384円
	インカムゲイン	38円	39円	37円	114円
信託報酬等	-11円	-14円	-9円	-35円	

・上記の基準価額変動の要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、直近3ヵ月の基準価額騰落率の要因を円貨にて表示しております。

資産内容

2022年7月29日 現在

格付別配分

格付	純資産比
BBB以上	1.7%
BB	34.1%
B	40.4%
CCC	13.7%
CC	0.4%
C以下及び 無格付	1.7%
その他の資産	8.1%
合計	100.0%

業種別配分

業種	純資産比
石油・ガス	18.2%
建設	7.4%
放送	6.5%
レジャー	6.2%
金融	5.6%
その他の業種	47.9%
その他の資産	8.1%
合計	100.0%

ポートフォリオ特性値

平均格付	B
平均クーポン	5.4%
平均直利	6.3%
平均最終利回り	8.0%
平均デュレーション	4.3年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(クーポン、直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したもので、現地通貨建て。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

実質外貨比率 0.9%
・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

(ご参考) 平均最終利回り(為替ヘッジ後) 5.3%
・平均最終利回り(為替ヘッジ後)は、為替ヘッジコスト/プレミアムを反映し、表示しています。

組入上位10銘柄

2022年7月29日 現在

銘柄	クーポン	業種	格付	純資産比
CARNIVAL CORP	5.750%	レジャー	B	1.2%
SPRINT CAPITAL CORP	8.750%	通信	BB	0.7%
DCP MIDSTREAM OPERATING	5.125%	石油・ガス	BB	0.7%
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	4.500%	放送	B	0.7%
GLOBAL AIR LEASE CO LTD	6.500%	金融	B	0.6%
LITHIA MOTORS INC	3.875%	小売り	BB	0.5%
FORD MOTOR COMPANY	9.000%	自動車関連	BB	0.5%
SWITCH LTD	3.750%	通信	B	0.5%
CQP HOLDCO LP/BIP-V CHIN	5.500%	石油・ガス	B	0.4%
LAREDO PETROLEUM INC	9.500%	石油・ガス	B	0.4%
合計				6.2%

組入銘柄数: 655 銘柄

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



運用コメント

2022年7月29日現在

●投資環境

米国ハイ・イールド債券市場は、月間で値上がりとなりました。上旬、米国株式市場のリバウンド(反発)によりリスクセンチメント(市場心理)が改善したことで、上昇しました。中旬以降、1981年11月以来の高い伸び率となった6月の米CPI(消費者物価指数)を受けて利上げ幅拡大の観測が強まったため下落する局面もありましたが、7月の米ミシガン大学期待インフレ率が低下したこと、および景気減速下でのECB(欧州中央銀行)やFRB(米連邦準備制度理事会)による利上げによって景気後退懸念が高まったことから、米長期金利が低下したことで上昇基調が継続し、月間では値上がりとなりました。

●運用経過

【野村米国ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)】

月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、+2.76%になりました。ドル・円の為替レートがドル安となったものの、保有していたハイ・イールド債券が上昇したことがプラスに作用しました。月末の組入比率は高位組入れを維持し、94.2%となりました。業種別配分は、石油・ガスや建設などを上位としました。

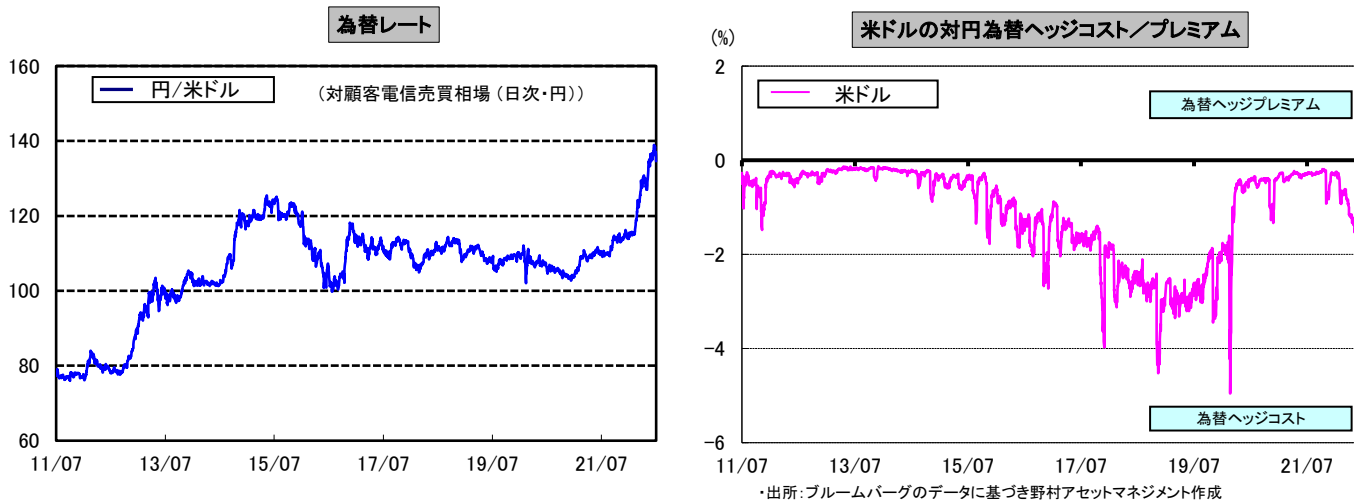
【野村米国ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)為替ヘッジあり】

月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、+4.16%になりました。保有していたハイ・イールド債券が上昇したことがプラスに作用しました。月末の組入比率は高位組入れを維持し、91.9%となりました。業種別配分は、石油・ガスや建設などを上位としました。

●今後の運用方針

米国ハイ・イールド債券市場は、米国の軟調な経済指標や米国のインフレ率の上昇、FRBの金融引き締めへの積極的な姿勢などを背景に、不安定な推移となっています。一方で、ハイ・イールド債を発行している企業の4-6月期の決算が比較的好調であることや、一部のハイ・イールド発行体が投資適格級へ格上げされていることなどが市場の下支えとなる可能性があります。引き続き、FRBによる金融政策やバイデン米政権による財政政策を注視しながら、銘柄を選定して運用を行ないます。

(参考) 為替レートおよび米ドルの対円為替ヘッジコスト／プレミアム(日次)



・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



組入上位10銘柄の解説

2022年7月29日 現在

	組入銘柄	銘柄解説
1	CARNIVAL CORP カーニバル	世界最大のクルーズ客船の運航会社。北米、英国、南欧、南米、アジア太平洋などの主要観光地へのクルーズを提供する。
2	SPRINT CAPITAL CORP スプリント キャピタル	米国の通信サービス会社で、一般、企業、政府関連ユーザーに幅広いワイヤレスおよび有線通信サービスを提供する。
3	DCP MIDSTREAM OPERATING ディーシーピー ミッドストリーム	米国における天然ガスと天然ガス液の生産・販売業者である。
4	CCO HOLDINGS LLC クリア・チャンネル・ワールドワイド	米国の放送会社。テレビ、ラジオ放送サービスを提供する。
5	GLOBAL AIR LEASE CO LTD グローバル・エアクラフト・リーシング	ケイマン諸島で事業を展開する商業金融サービス会社。航空機の商業および産業リースを手掛ける。
6	LITHIA MOTORS INC リチア・モーターズ	米国の自動車小売会社。
7	FORD MOTOR COMPANY フォード モーター	米国の自動車メーカー。
8	SWITCH LTD スイッチ	米国の通信サービス会社。コロケーション、テレコミュニケーション、クラウドサービス、コンテンツエコシステムを提供している。
9	CQP HOLDCO LP/BIP-V CHIN シーキューピー	米国のエネルギー企業買収を目的として設立された特別目的事業体。
10	LAREDO PETROLEUM INC ラレード・ペトロリアム	米国の独立系エネルギー会社。石油と天然ガスの探査・開発に従事する。

(出所) NCRAM社からの情報提供、Bloombergおよび各社WEBサイトを基に野村アセットマネジメントが作成
当資料はファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買等の推奨、また価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 中長期的に、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
- 米国ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「高利回り社債オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 米国ドル建てのハイ・イールド・ボンドに投資し、中長期的に、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。
 - ◆ 投資するハイ・イールド・ボンドは主としてBB格相当以下の格付が付与されているもの(格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)とします。
 - ◆ 米国ドル建て以外のハイ・イールド・ボンドに投資する場合があります。
- 投資対象の徹底したクレジット分析と分散投資により、ポートフォリオ全体のリスクの低減を目指します。
 - ◆ ハイ・イールド・ボンドへの投資にあたっては、投資対象の徹底したクレジット分析*を行うことにより、信用リスクのコントロールを行います。
※投資対象のクレジット分析にあたっては、ESGの視点も加味します。
 - ◆ ポートフォリオによる分散投資によりリスクの低減を図ることを基本とします。
 - ◆ 同一発行体の発行するハイ・イールド・ボンドへの投資割合は、マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。
 - ◆ 投資対象を40業種に分類し、1業種あたりの投資割合は、原則としてマザーファンドの純資産総額の25%以内とします。
- 「野村米国ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)」は原則として為替ヘッジを行わず、「野村米国ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)為替ヘッジあり」は原則として為替ヘッジを行います。
- ファンドは「高利回り社債オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- マザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク(NGRAM社)に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎月12日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。分配金額は、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合があります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

各ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



当ファンドに係る費用

ご購入時手数料	ご購入のお申込み日の翌営業日の基準価額に3.3% (税抜3.0%) 以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にお問い合わせ、もしくは購入時手数料を記載した書面をご覧ください。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。純資産総額に年1.87% (税抜年1.70%) の率を乗じて得た額
その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。) ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等
ご換金時手数料	ありません。
信託財産留保額(ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

お申込みメモ

- 信託期間 無期限
(「野村米国ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)」
: 2011年7月29日設定)
(「野村米国ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)為替ヘッジあり」
: 2012年8月30日設定)
なお、各ファンドにつき、受益権口数が20億口を下回った場合等は、償還となる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- ご換金代金 原則、ご換金申込日から起算して6営業日目から販売会社でお支払いします。
- ご換金制限 1日1件5億円を超えるご換金は行えません。なお、別途換金制限を設ける場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 決算日および収益分配 年12回の毎決算時(原則、毎月12日(休業日の場合は翌営業日))に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 販売会社が定める単位

※お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行う者]

<受託会社> 三菱UFJ信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行う者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



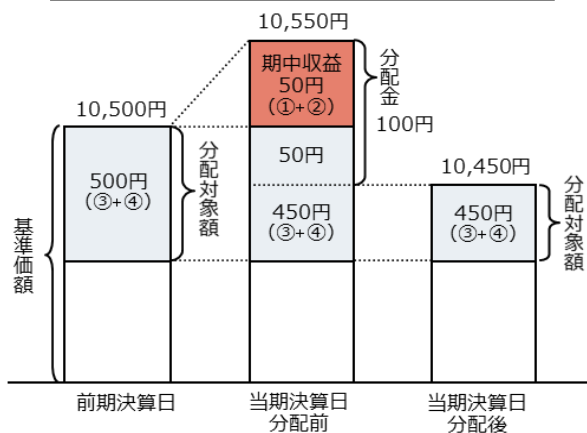
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

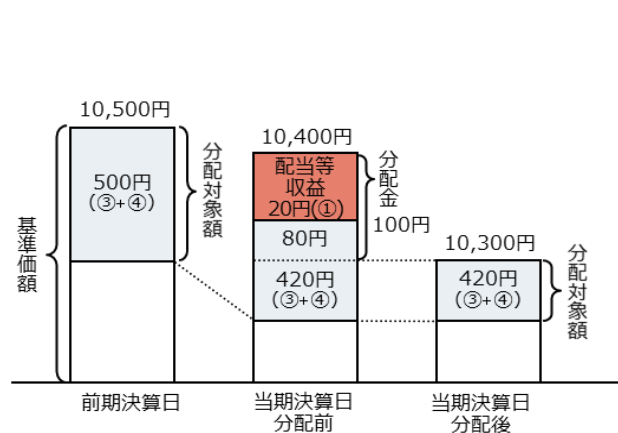
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



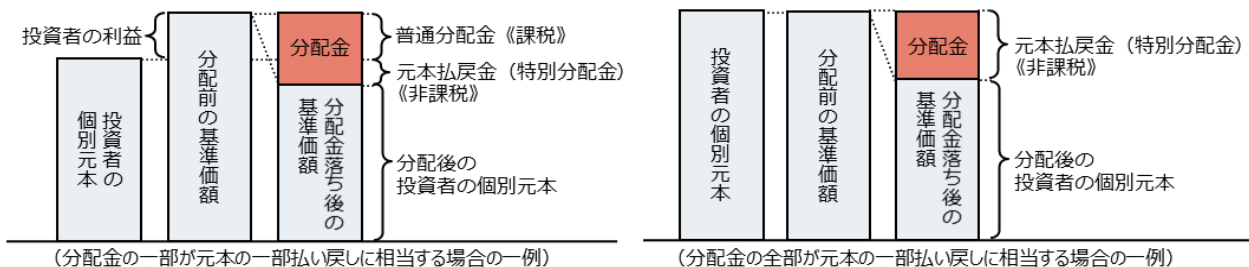
前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村米国ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型) 野村米国ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)為替ヘッジあり

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第611号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。